

敵傍山の縁もしだいに深まり、学校にも雄々しい木々の力強さが伝わってくるようです。

本校も、学校創立から十三年目を迎えて、六年間をひと区切りと考えますと、今年度は第三世代の生徒が入学したことになります。もはや新設の学校とは言えません。確かな伝統を築きつつ、中堅校の仲間入りをすることになります。私たち教職員には、相応の覚悟が求められています。保護者の皆さん、関係者の皆さん方には、どうか引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ところで、先日の育友会総会で、私は昨年度「全国高P」が高校二年生に行つたアンケート調査を紹介しながら「顔の見える人間関係」を大事にしたいと申し上げました。

この調査によると、スマホを使っている高校生がここ数年で急増し、九十五%近くいること。使用については、相手の表情が見えないまま、短い言葉で情報を交換し合うため、時には非常に厳しい状況に陥ることもあると報告されています。

また別の項目では、病気でもないのにマスクを使用する生徒が増えて

たけのこ

第一号

発行 聖心学園中等教育学校
横浜市久米町二二二番地
平成二十七年五月二十八日発刊

選字 田中 七葉書

第一号

聖心学園中等教育学校
学校通信「たけのこ」

中等

1. 顔の見える関係を P1
2. 教職員の裏勤 P2
3. 入学式 P2
4. 離着用式・始業式・対面式 P2
5. 新着任先生の紹介 P3
6. 新入生歓迎会・新入生歓迎会 P3
7. 宿泊研修・体験の日 P4~P6
8. 遠足 P6~P7
9. 環境美化部 P7
10. 生徒部・育友会新役員紹介 P8

節
誠実
勇
創造

今はあどけない生徒たちが、タケノコのようにすくすく育ち、しなやかでまっすぐな胸に成長してくれることを願って、学校通信を「たけのこ」と名付けました。

平成27年度 聖心学園中等教育学校 入学式

ごあいさつ

— 顔の見える関係を —



学校長 森田 真康

おり、男子で二割、女子では四割近くのこと。またその最も多い理由は、「自分の表情が相手に見えないから安心だ。」というものです。

もともと人間関係を築く基となる

互いのコミュニケーションは、相手の表情や声の調子が非常に重要な要素となるはずです。しかし、このような状況では周りとの良好な関係が築き難いばかりか、様々な誤解や思い違いによるトラブルが発生するのも当然ではないかと思われます。

便利なSNSツールが多数出現し、容易に自分の思いを表明できる便利な時代になつたからこそ、私たち大人も子どもも「周りや互いを見る眼」を磨き、「顔の見える好ましい人間関係」を築く努力を忘れてはならないと思います。

つという、一連のコミュニケーションの基本をきちんと身に着けさせることが大事であつて、普段の生活の中でそうした経験を積ませておくことが、学校でも家庭でも必要だと思います。



学校は、概ね学力や体力をしっかりと身に着けるところであります。それだけではなく、子どもたちにとって卒業後は、多様なストレスが渦巻く現代社会を生き抜かなければならぬわけですので、良好な人間関係を築く最低限の力は着けてやりたいと思うところです。

それには、まず「眼と眼」「顔と顔」を合わせて相手の心情を察した上で自分の意見を述べ、相手の反応を待



平成 27 年度入学式

◎ 教職員の異動

教員の異動について

このたびの人事異動で、三月三十一日付で二名の先生がご退職されました。

● 浦前 正彦 副校長

(英語 在職十二年)

● 蔡下 浩嗣

(数学 在職三年)

浦前副校長先生は、開校以来十二年間にわたり英語科教員、中等教育部長、副校长として様々な分野でご活躍され、本校の発展にご尽力いただきました。

蔡下先生は数学科の教員として教科指導はもとより、バドミントン部の顧問としても熱心にご指導いただきました。二名の先生方の今後のご健康とご活躍をお祈りします。

また、四月一日付で左記の異動が発令されましたのでお知らせ致します。

● 南浦洋八郎 (数学・新着任)
〔県立郡山高等学校より〕

● 山下 圭 (教頭)

〔前教務部長〕

第十三回 入学式

四月三日（金）、第十三回入学式が挙行され、四十一名が聖心学園中等教育学校の第十三期生としての第一歩を歩み出しました。



着任式・始業式・対面式

四月四日、始業式が挙行され、いよいよ平成二十七年度がスタートしました。

始業式に先立つて着任式が行われ、校長より浦前正彦先生、蔡下浩嗣先生の退職が紹介され、お二人の退職に生徒からざわめきの声があがりました。その後、新着任の南浦洋八郎先生の紹介と、南浦先生からの挨拶がありました。



続いて行われた始業式では、森田校長の式辞では「何事にも視野を広く持つていろんなことに挑戦してほしい。たとえ失敗しても、その経験は必ず自分の糧になる」という年度初めの訓辞とともに、「五年生の定期考査が年間六回から五回に変更されること、日々の授業を大切にし、積極

く抱負が述べられました。
式の終了後、生徒・保護者が教室に入りクラス開きが行われ、担任の先生からの話を真剣に聞いていました。
新入生代表宣誓では、四十一名の新入生を代表して西春奈さんから「今日から聖心学園の生徒として勉強に部活動にしつかりと頑張っていきます。」と力強く宣言されました。
新たな目標に向かつて、クラスメートと共にしつかりと歩んでいきましょう。



たけのこ

的に授業に臨むことなどもお話をされました。その後、各学年・クラス担任の紹介がありまし

最後に対面式が行われ、在校生代表の寺原由成くん（三年）より「歓迎の言葉」が、新入生代表の伊江輝星くんより「お礼の言葉」が述べられました。

これから、新入生と在校生が一体となつて、さらに聖心学園を盛り上げていきましょう！

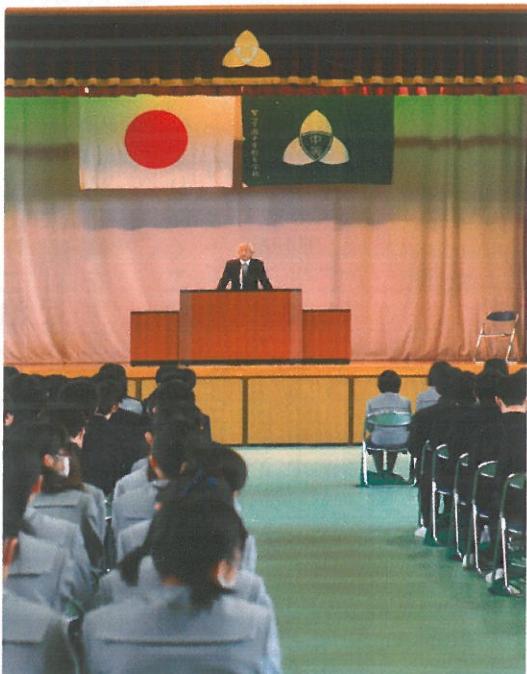
初めまして。四月から着任いたしました南浦洋八郎と申します。担当教科は数学です。六年生の学年係を担当させていただいております。

南浦洋八郎 先生



新着任先生紹介

奈良県立郡山高等学校を退職し、聖心学園中等教育学校に着任させていただき二ヶ月近くが経ちました。郡山高等学校では進路指導と高校三年の数学を教えることが多かつたのですが本校にきてからは小学校を卒業して間もない一年生や元気いっぱ



いの二年生の皆さんと接することができて非常に精神的に若返ったように感じます。先生方も若々しくかつフレッシュで、朝早くから遅くまで熱心に指導されているのを見てこれまた非常に新鮮な気持ちなることができました。

六年生の教室が北館にあるので北館で過ごしていることが多いので質問のあるときはぜひ北館まで足を運んでください。階段や北側の教室から眺める深田池と新緑の畝傍山の景色はとてもすばらしく一枚の絵のようですが、本当に自然に囲まれたよい学校がいるといえれば学校でほとどぎすの鳴き声を聞いたような気がします。明け方や宵（よい）

に啼（な）く鳥なのでなかなか聞くことができなかつたのです。が畝傍山の自然のおかげで聞くことができました。「目には青葉山ほどときす「初鰯」という俳句があります。目にも鮮やかな「青葉」、美しい鳴き声の「ほとときす」、食べておいしい「初鰯」を初夏には楽しみたいという江戸時代の庶民の夢を詠（よ）んだものですがそのうち二つを楽しむことができました。

皆さんは心を豊かにするために学校全体で「論語」に取り組まれ「論語」に造詣（ぞうけい）が深いと聞きました。すばらしこことなのでよい機会を持つたと思い自分で学習を続けていたいことを思います。とくに前書きたいと思います。とくに前期課程の皆さんは遅くまで残つ

い学校に恵まはと
うな気よい)が深いと聞きました。すばらしいことなのでよい機会を持つた
と思い自分で学習を続けていた
だきたいと思います。とくに前期課程の皆さんは遅くまで残つ

て勉強をしておられるので時間があればぜひとも自分から漢字の勉強に燃えていただきたいと思います。「論語」そのものも漢字で書かれているので「論語」を通じてでもよいし、漢字の学習を発展させて高校の「漢文」の予習でもよいと思います。もちろん大人向けの「論語」の本もたくさんあります。うまくいけば大学入試にも役立つし、人生の指針となるような名言に出会えるかもしれません。

では「論語」から大切にしている言葉をひとつ。

れを過ちという」【意味】誰でも過ちを犯すが、それに気づきながらも改めようとしないことこそ、本当の過ちであるということ。うまくいっていないとわかつているのに変えようとしないことは誤りである。

もし皆さんのがでうまくいってないなと思うことがあればぜひひもう一度今の自分を見直してください。私も新鮮な皆さんに出会えたので自分の暦（こよみ）をリセットしてゼロからの出発を楽しみたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

今年度の歓迎会を終えて

文化図書部

今年度の新入生歓迎会は四月

今年度の新入生歓迎会は四月九日（木）に司会進行を放送委員の手によって、挙行されました。新入生歓迎会は新入生を温かい思いで迎え、クラブ活動などで活躍する部員たちの取り組みを通じて、新入生のみなさんの新しい「学校生活」の出発を歓迎する会です。

文化部・運動部の趣向の凝らされた演目に新入生のみなさんはどんな感想を持ったでしょう



か。また、クラブ活動だけではなく記憶力大会参加者や必修クラブの人たちの活動にもきっと、これから始まる学園生活に新たな「夢」を見たのではないかと思います。「よく遊び、よく学べ」の意味は懸命に遊べないものは懸命に学ぶこともできないうことだと言われます。

日々の生活を豊かにすることを探し、充実した時間を過ごし、自己の可能性を信じ、「思いつきり」楽しく学園生活を送つてほしいと思います。

新入生の諸君！

ようこそ聖心学園に。

四月二十三日より二泊三日の日程
第一期生より続くこの研修は、本校生としての自覚をもつことや、本集団生活を通した仲間作り、琵琶湖博物館でのテーマ別学習とレポート作成を主な目的としています。

二十三日、権原神宮前駅に集

合し、バスで出発しました。全員元気いっぱい、車内はすぐにたいへんにぎやかになり、クラスを超えて仲良く交流を持つことができました。

琵琶湖博物館では、まず学芸

員の方から琵琶湖に生息する魚について、固有種・外来種等のお話をくわしく聞かせていただき

きました。生徒たちはたいへん興味を持ったようで、質問を投げかけたり、答えたりしていま

した。昼食後は、琵琶湖の成り立ちや自然環境、生活とのかかわりについて、各自が決めた

テーマについて観察したり、資料を集めたり、メモを取つたりして、レポートの準備を熱心に行いました。

宿舎に到着後、オリエンテー

ション、夜は湖畔でキャンプ

ファイヤーをし、各クラスで練習をしてきた劇や出し物を披露

したりゲームをし、たいへん盛

り上がりました。

二日目はレポート作成の後、飯盒炊さんでカレーを作りました。危なつかしい手つきでジャガイモや人参を切る生徒、煙にむせながら火の番をする生徒、汚れたものを黙々と洗う生徒、ゴミを片付ける生徒、それが自分出来ることを行い、協力しながら出来上がったカレーをおいしそうに食べていました。

楽しみにしていた筏作りは好天に恵まれ、インストラクターの方々のご指導や細かいご配慮のおかげで、琵琶湖に漕ぎ出しました。何度も競争する機会をいただきました。何度も競争する機会をいたぎ、勝つても負けても大きな歓声をあげ生き生きした表情で元気に取り組み大喜びでした。

最終日は琵琶湖畔の清掃を行いました。権原神宮前駅

で、保護者の方のお迎えを受け、全員元気に研修を終えることが

できました。

宿舎に到着後、オリエンテー

ション、夜は湖畔でキャンプ

ファイヤーをし、各クラスで練習をしてきた劇や出し物を披露

したりゲームをし、たいへん盛

り上がりました。

二日目はレポート作成の後、

飯盒炊さんでカレーを作りました。危なつかしい手つきでジャ

ガイモや人参を切る生徒、煙に

むせながら火の番をする生徒、

汚れたものを黙々と洗う生徒、

ゴミを片付ける生徒、それぞれ

が自分出来ることを行い、協

力しながら出来上がったカレー

をおいしそうに食べていました。

楽しみにしていた筏作りは好

天に恵まれ、インストラクター

の方々のご指導や細かいご配慮

のおかげで、琵琶湖に漕ぎ出

しました。何度も競争する機会を

いたぎ、勝つても負けても大

きな歓声をあげ生き生きした表

情で元気に取り組み大喜びでした。

最終日は琵琶湖畔の清掃を行

いました。権原神宮前駅

で、保護者の方のお迎えを受け、

全員元気に研修を終えることが

できました。

宿舎に到着後、オリエンテー

ション、夜は湖畔でキャンプ

ファイヤーをし、各クラスで練習

をしてきた劇や出し物を披露

したりゲームをし、たいへん盛

り上がりました。

二日目はレポート作成の後、

飯盒炊さんでカレーを作りました。危なつかしい手つきでジャ

ガイモや人参を切る生徒、煙に

むせながら火の番をする生徒、

汚れたものを黙々と洗う生徒、

ゴミを片付ける生徒、それぞれ

が自分出来ることを行い、協

力ながら出来上がったカレー

をおいしそうに食べていました。

楽しみにしていた筏作りは好

天に恵まれ、インストラクター

の方々のご指導や細かいご配慮

のおかげで、琵琶湖に漕ぎ出

しました。何度も競争する機会を

いたぎ、勝つても負けても大

きな歓声をあげ生き生きした表

情で元気に取り組み大喜びでした。

最終日は琵琶湖畔の清掃を行

いました。権原神宮前駅

で、保護者の方のお迎えを受け、

全員元気に研修を終えることが

できました。

宿舎に到着後、オリエンテー

ション、夜は湖畔でキャンプ

ファイヤーをし、各クラスで練習

をしてきた劇や出し物を披露

したりゲームをし、たいへん盛

り上がりました。

二日目はレポート作成の後、

飯盒炊さんでカレーを作りました。危なつかしい手つきでジャ

ガイモや人参を切る生徒、煙に

むせながら火の番をする生徒、

汚れたものを黙々と洗う生徒、

ゴミを片付ける生徒、それぞれ

が自分出来ることを行い、協

力ながら出来上がったカレー

をおいしそうに食べていました。

楽しみにしていた筏作りは好

天に恵まれ、インストラクター

の方々のご指導や細かいご配慮

のおかげで、琵琶湖に漕ぎ出

しました。何度も競争する機会を

いたぎ、勝つても負けても大

きな歓声をあげ生き生きした表

情で元気に取り組み大喜びでした。

最終日は琵琶湖畔の清掃を行

いました。権原神宮前駅

で、保護者の方のお迎えを受け、

全員元気に研修を終えることが

できました。

宿舎に到着後、オリエンテー

ション、夜は湖畔でキャンプ

ファイヤーをし、各クラスで練習

をしてきた劇や出し物を披露

したりゲームをし、たいへん盛

り上がりました。

二日目はレポート作成の後、

飯盒炊さんでカレーを作りました。危なつかしい手つきでジャ

ガイモや人参を切る生徒、煙に

むせながら火の番をする生徒、

汚れたものを黙々と洗う生徒、

ゴミを片付ける生徒、それぞれ

が自分出来ることを行い、協

力ながら出来上がったカレー

をおいしそうに食べていました。

楽しみにしていた筏作りは好

天に恵まれ、インストラクター

の方々のご指導や細かいご配慮

のおかげで、琵琶湖に漕ぎ出

しました。何度も競争する機会を

いたぎ、勝つても負けても大

きな歓声をあげ生き生きした表

情で元気に取り組み大喜びでした。

最終日は琵琶湖畔の清掃を行

いました。権原神宮前駅

で、保護者の方のお迎えを受け、

全員元気に研修を終えることが

できました。

宿舎に到着後、オリエンテー

ション、夜は湖畔でキャンプ

ファイヤーをし、各クラスで練習

をしてきた劇や出し物を披露

したりゲームをし、たいへん盛

り上がりました。

二日目はレポート作成の後、

飯盒炊さんでカレーを作りました。危なつかしい手つきでジャ

ガイモや人参を切る生徒、煙に

むせながら火の番をする生徒、

汚れたものを黙々と洗う生徒、

ゴミを片付ける生徒、それぞれ

が自分出来ることを行い、協

力ながら出来上がったカレー

をおいしそうに食べていました。

楽しみにしていた筏作りは好

天に恵まれ、インストラクター

の方々のご指導や細かいご配慮

のおかげで、琵琶湖に漕ぎ出

しました。何度も競争する機会を

いたぎ、勝つても負けても大

きな歓声をあげ生き生きした表

情で元気に取り組み大喜びでした。

最終日は琵琶湖畔の清掃を行

いました。権原神宮前駅

で、保護者の方のお迎えを受け、

全員元気に研修を終えることが

できました。

宿舎に到着後、オリエンテー

ション、夜は湖畔でキャンプ

ファイヤーをし、各クラスで練習

をしてきた劇や出し物を披露

したりゲームをし、たいへん盛

り上がりました。

二日目はレポート作成の後、

飯盒炊さんでカレーを作りました。危なつかしい手つきでジャ

ガイモや人参を切る生徒、煙に

むせながら火の番をする生徒、

汚れたものを黙々と洗う生徒、

ゴミを片付ける生徒、それぞれ

が自分出来ることを行い、協

力ながら出来上がったカレー

をおいしそうに食べていました。

楽しみにしていた筏作りは好

天に恵まれ、インストラクター

の方々のご指導や細かいご配慮

のおかげで、琵琶湖に漕ぎ出

しました。何度も競争する機会を

いたぎ、勝つても負けても大

きな歓声をあげ生き生きした表

情で元気に取り組み大喜びでした。

最終日は琵琶湖畔の清掃を行

いました。権原神宮前駅

で、保護者の方のお迎えを受け、

全員元気に研修を終えることが

できました。

宿舎に到着後、オリエンテー

ション、夜は湖畔でキャンプ

ファイヤーをし、各クラスで練習

をしてきた劇や出し物を披露

したりゲームをし、たいへん盛

り上がりました。

二日目はレポート作成の後、

飯盒炊さんでカレーを作りました。危なつかしい手つきでジャ

ガイモや人参を切る生徒、煙に

むせながら火の番をする生徒、

汚れたものを黙々と洗う生徒、

ゴミを片付ける生徒、それぞれ

が自分出来ることを行い、協

力ながら出来上がったカレー

をおいしそうに食べていました。

楽しみにしていた筏作りは好

天に恵まれ、インストラクター

の方々のご指導や細かいご配慮

のおかげで、琵琶湖に漕ぎ出

しました。何度も競争する機会を

いたぎ、勝つても負けても大

きな歓声をあげ生き生きした表

情で元気に取り組み大喜びでした。

最終日は琵琶湖畔の清掃を行

いました。権原神宮前駅

で、保護者の方のお迎えを受け、

全員元気に研修を終えることが

できました。

宿舎に到着後、オリエンテー

ション、夜は湖畔でキャンプ

ファイヤーをし、各クラスで練習

をしてきた劇や出し物を披露

したりゲームをし、たいへん盛

り上がりました。

二日目はレポート作成の後、

飯盒炊さんでカレーを作りました。危なつかしい手つきでジャ

ガイモや人参を切る生徒、煙に

むせながら火の番をする生徒、

汚れたものを黙々と洗う生徒、

ゴミを片付ける生徒、それぞれ

が自分出来ることを行い、協

力ながら出来上がったカレー

をおいしそうに食べていました。

楽しみにしていた筏作りは好

天に恵まれ、インストラクター

の方々のご指導や細かいご配慮

のおかげで、琵琶湖に漕ぎ出

しました。何度も競争する機会を

いたぎ、勝つても負けても大

きな歓声をあげ生き生きした表

情で元気に取り組

た け の こ

料理のマナーについての有意義な話を聞きながら、シェフご自慢のおいしい料理をいただきました。最初は緊張していた生徒たちも、徐々に打ち解け、パンを何回もおかわりしている姿も見られました。生徒たちにとつてリフレッシュでき多くのことを学ぶことのできた一日となりました。

【生徒作文より】

・ハーブ園ではロープウェイの中で、ワクワクした時間を過ごし、いつもは見られない視点から自然を見る体験ができました。足湯をしている時、カナダ人と英語で話せたことも、大きな体験でした。本格的なフランス料理は、まだまだ十分に分からぬ所もありますが、本物に触れて感性が磨かれました。

立岡佑里華



・行く途中の高速から、あべのハルカスや U.S.J.、通天閣などが見え、バスの中も楽しかったです。ハーブ園ではロープウェイの中で滝やダムが見られ、山頂ではいつもの野菜やフルーツの野生の姿が見られました。

テープルマナーでは、西洋料理を食べる時に必要なマナーを身につけることができ、とてもおいしくいただけたので、すごく良かったです。

ハーブ園ではレモンやリンゴ、カレーの香りがする植物やきれいな花がたくさんありました。マナー講習で新しく知ったことは、スープの飲み方が手前からすくうのはイギリス式で、奥からすくうのはフランス式ということです。オードブルは大人な味でしたが、西洋料理はおいしかったです。その中でも、デザートがおいしかったです。いい思

北村桃香

河合祐実奈



・ノーベル化学賞を受賞された田中耕一さんがお勤めになられている島津製作所の「創業記念資料館」を見学させていただきました。

明治八年、理化学器械製作場の創業から理化学器械・医療用 X 線装置などの製造開発で日本の近代化技術の発展を担つてこられた企業です。当初は外国製品の模倣や、実験器具の学校納入によつて成長を遂げられたことなど、創業以来の歴史を映像を交えて紹介していただきました。



今回の体験は、年度末に控えた文理選択に備えて、「キャリア教育」も視野に入れたプログラムになりました。

まず、ノーベル化学賞を受賞

された田中耕一さんがお勤めに

なられている島津製作所の「創

業記念資料館」を見学させてい

ただきました。

明治八年、理化学器械製作場の創業から理化学器械・医療用 X 線装置などの製造開発で日本

の近代化技術の発展を担つてこられた企業です。当初は外国製品の模倣や、実験器具の学校納入によつて成長を遂げられたことなど、創業以来の歴史を映像を交えて紹介していただきました。

その後、館内に展示されている初期のレンントゲン機器などの製品や器具を見ながら、一つひとつ丁寧に解説してくださいました。要所要所で投げかけられ

る質問にも、生徒たちは積極的に答え、また時には係の方にこ

ちらからも質問をしながら、展示品に見入っていました。やっぱりこの子たちは「理科大好き！」なようです。

島津製作所『創業記念資料館』

／和食マナー講習／平安神宮

3



お昼は、先輩たちも毎年お世話になっている、京料理「六盛」で、世界無形文化遺産に登録された和食のテーブルマナー講習を受けながら、ちょっと贅沢なお昼ごはんに舌鼓！

落ち着いた雰囲気の店内に入るとあちらこちらから「おこしやす」「おこしやす」と掛けられる声に、一瞬で京情緒に惹き込まれていきましたが、同時に生徒たちの緊張感が一気に高まりました。

講習は、ご主人の丁寧な説明と従業員の方の実演で「玄関での靴の脱ぎ方」や「襷の開け閉め」、「座布団の当て方」等々から始まりました。その後も、次々に出されるお料理一品ひと品の食仕方をわかりやすく教えていただきました。



今年度、中等四年生は「神戸大学見学と北野異人館巡り」に行きました。神戸大学では六甲台第一キャンバスを見学させていただきました。キャンバスの大きさや、学食の綺麗さ、また高台から遠く見える海に生徒たちも感激しました。

午後からは「神戸で外国の街並みを感じよう。」という目的で北野異人館巡りをしました。二時間という決められた時間内で最低一つは異人館を巡り、異人館前でグループ写真を撮つてくるという課題のもと、自由に散策しました。

お昼は、先輩たちも毎年お世話になっている、京料理「六盛」で、世界無形文化遺産に登録された和食のテーブルマナー講習を受けながら、ちょっと贅沢なお昼ごはんに舌鼓！

お昼は、先輩たちも毎年お世話になっている、京料理「六盛」で、世界無形文化遺産に登録された和食のテーブルマナー講習を受けながら、ちょっと贅沢なお昼ごはんに舌鼓！

今回の体験はバラエティーに富んだ内容で、充実の一日になりました。そして、帰りのバスの車内には笑顔と活気が溢れていました。

今回の体験はバラエティーに富んだ内容で、充実の一日になりました。そして、帰りのバスの車内には笑顔と活気が溢れています。

今回の体験はバラエティーに富んだ内容で、充実の一日になりました。そして、帰りのバスの車内には笑顔と活気が溢れています。

後期課程 春の遠足

神戸大学見学と 北野異人館巡り



モクモク手作りファーム

5



午前八時半、「権原神宮前駅中央出口」集合後、観光バス二台で三重県伊賀市にある「モクモク手づくりファーム」を訪れました。遠足には申し分のない日和で、以前に家族と来園したという生徒もいましたが、多くの仲間と訪れるのは初めてなので、「異なった視点から再認識でき、新鮮でした」との感想。

帰ってきてから提出されたレポートでは、さまざまな感想が述べられました。天気が良かつたこともあり、それぞれ存分に楽しみ、学んだようでした。

生徒のレポート（一部抜粋）

○この異人館のあつた地区は、諸外国官民の居留地になつていて、母国を偲んで争つて私邸が建てられた地区だそうです。

○街並みに合わせて、ローソンの外壁もレンガ風になつていてオシャレだと思いました。多くの外国人がいて驚きました。神戸はとても素敵なおいだらで、街でした。

一時間ほどの自由時間の後、

「Buu Buu ハウス」での昼食（バーべキュー）。豚肉は本当に美味しく、ご飯を五、六杯も食べた生徒がいました。「園内に

豚が思ったほどいなかつたのは、私たちが焼肉で食べてしまったからかな?」との女生徒の感想。

午後一時からは「手作りワインナーナー」の体験学習。十二時半から始まっていた「それいけ！ミニブタ芸」が原因なのか、多くの生徒が集合時間ぎりぎりでした。生肉を素手で触るのが初めてという生徒も多く、肉の脂で手をベトベトにしながら、家族



京都探訪

6

四月二十四日(金)、第六学年の遠足が実施されました。

生徒たちにとっては、学年で出掛ける最後のイベントです。

今回の目的は、「京都市内の

大学を訪問・見学し、受験生としての意識を高める。同時に、市内の歴史ある寺社を参拝し、

受験の合格祈願を行う。」とし、生徒が主体となつた一日でした。

我々教師が用意したことは、九時三十分京都駅集合、一五時三十分京都駅集合の二つだけ

で、遠足のメインの行程は生徒一人一人のオリジナルです。行きたい観光地、大学、寺社等を

考え、電車、バスの乗り継ぎ、時間などを組み込んで行程を作成します。当日は天気が良かつたこともあり、おいしいものを

求めて食べ歩いたグループやレンタルサイクルで京都市内をぐるりと回るグループもあつたよ

うです。大学のキャンパスには、

生徒それぞれが少なくとも一つは訪問しました。大学によつては、ちょうどこの春入学した一生懸命に作つていた姿がとても印象的でした。ご家族の皆様、お味はいかがでしたか?

また、我々が思つてゐる以上に自分たちで上手に計画でき、行動できることがわからました。本当に生き生きした顔で

樂しそうでした。

さて、大学受験までカウントダウン、自分たちが主体となつて数々の壁を自分で乗り越え、

来春は大学のキャンパスで生き

心となつて、実施しています。

四・五年生の環境美化委員が中掃時間帯における校内放送を

活動をさらに徹底するべく、清掃時間帯における校内放送を

本校では、環境美化部を設置しています。環境美化部では、「美しい心は美しい環境の中で育つ」という認識のもと、校舎内外の環境保持の徹底を図っています。

校内美化として、毎日の清掃活動をさらに徹底するべく、清掃時間帯における校内放送を

四・五年生の環境美化委員が中心となって、実施しています。

また、毎月一回安全点検の日を設け、各クラスの環境美化委員が担当場所の清掃用具の点検や自教室の器具の破損などを点検しています。

環境美化部





校外活動として、毎月一回水曜日に、各クラスごとの校外清掃を実施し、学校から樺原神宮前駅と、樺原神宮西口駅までの通学路と周辺地域の清掃を行っています。（五月は四年一組が担当してくれました）普段通学している道路や近隣への感謝の気持ちと、ボランティアの精神を養っていきます。

更に、本校では校門前にフラワープランターを設置しております。フラワープランターの管理は生徒全体が主体となり、花の苗木の植え替えやそれの担当場所への花の水遣り、除草などを行っています。昨年の秋に植えてくれたチューリップの球根が、今年四月綺麗な花を咲かせています。花の水遣りをした後の充実感や、「きれいな花を咲かせてほしい」、「花と触れ合うことで心が和む」といった気持ちを育てています。

環境美化部は、今後も校舎内外の環境保持を行うことで、生

徒に備品管理や奉仕活動の一端を学んでもらい、自発的な清掃意識の確立を目指して行きたいと思います。

生徒部

今年度生徒部長になりました保健体育科の古賀です、どうぞよろしくお願ひします。

今や子どもにまで「プライバシー」という言葉が使われるようになってきましたが、子どもたちが最も必要としているものですが、トラブルの原因になつていてもあります。それは、二二十四時間「パーソナル」に、又は「グルーピー」で周りに知られることがなく、「つながり」を持つことなく、「つながり」を持たないものでもあります。それ

に思うところがあります。

① 僕は、「言う時と言わない時」、「言う人と言わない人」があると、言われた方は楽な方に流れてしまいがちです。学校での指導をご理解いただきご協力よろしくお願ひします。

② 携帯電話について
ご家庭でルールやマナーにに関してよく話し合った上で、子どもに持たせて下さい。

③ 送迎について

朝八時～八時四十五分まで、特別な事情を除き、樺原学院高等学校～西池尻郵便局の区間、車の進入をご遠慮下さい。

◆連絡事項

女子のカーディガン、男子のVベストの取り扱いについて「原則その時期の制服に準ずるが天候・体調に応じて着脱することができる。」としました。今までのように異装届は必要ありませんので、気候に合わせて着こなしてほしいと思います。

できず、今後さらに「つながりやすさ」は進んでいくことだ考えます。まず大人がケータイ・

スマホの便利さ・危険性を知り、初めて子どもに自転車を買い与えた時のようルール・約束事を確認して使わせる必要があるのではないか。

第一回保護者会でお話させていただきました三つのお願ひと連絡事項について再度連絡させていただきます。

会総会が盛大に開催されました。席上、平成二十七年度新役員が承認されましたので、紹介させていただきます。

また、役員の皆様には一年間よろしくお願ひします。

■ ■ 育友会総会 ■ ■

去る五月二十三日（土）本校体育館において、育友

会総会が盛大に開催されました。

席上、平成二十七年度新役員が承認されましたので、紹介させていただきます。

☆会長 岸本智里

☆副会長 栗原実紀

岸香陽子

下田奈津子

住吉祐香

松本千佳子

田中美佳

平井貴子

堀内弘美

富士川智子

山寄益実

亀井佐千子

鷲尾佐和子

葛本真弓

武田由実

安田敦子

金村晴美

岩崎佐喜子

【兼任】

☆学年委員 六年 山本ひとみ
五年 高垣知加子

四年 川本裕美

三年 森本明子

二年 立岡千賀

一年 川合有希

植野和美

姜留美

松本里美

上田民恵

河合佐織

長井智美【兼任】

岩崎佐喜子

【兼任】

☆広報委員

星野理恵

【兼任】

☆地区委員

星野理恵

【兼任】

☆美化委員

星野理恵

【兼任】

☆進路委員

星野理恵

【兼任】

長井智美【兼任】

岩崎佐喜子

【兼任】

（敬称略）